

【取組内容①】「クラウド環境を活用した協働的な学び」

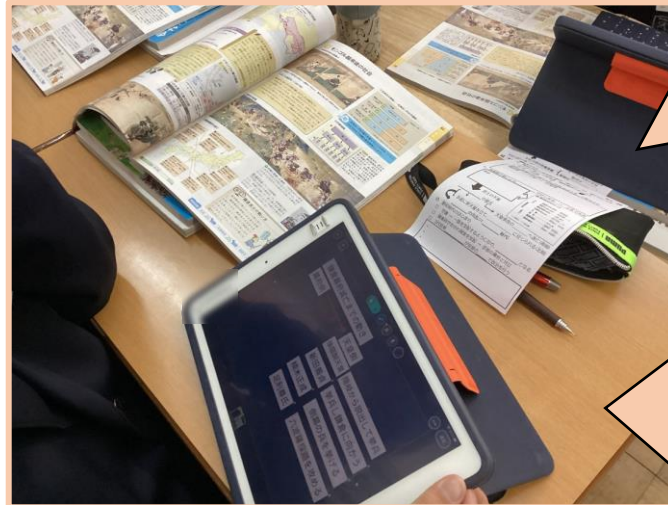
☆思考する場面でクラウド環境を活用。考えや活動成果を常に共有
 ☆共有された情報を生かした、個別最適・協働的な学びが発生

国語科での実践



デザインアプリを使い、グループごとのテーマに沿って、協働で作品作りを行う。

社会科での実践



グループごとに共有スペースを作り、テーマに沿って分担して調べ学習に取り組む。

自分達以外のグループの取り組み状況も参照できるようにすることで、さらなる学びの広がり・深まりにつながる！

<教師側の利点>

- 生徒の作品や課題の全体共有が簡単に行える。
- グループごとの作品や課題をクラウド上に保管しておくことができる。
- 作品・課題返却をペーパーレスでできる。

<生徒側の利点>

- テーマや課題に沿って話し合いながらソフトウェア上で作品作りや課題づくりに取り組むことができる。
- 進捗状況や途中経過を互いに見ることができる。
- 活動への参加意識が高まる。
- アンケートなどタイピングでの打ち込みで提出がしやすくなった。